

## Old Red Leather Chair

### 古くて赤い革の椅子

作詞作曲 マイク・バス



僕は雨の音を聴くのが好き、  
君はボードゲームで僕に勝つのが好き。  
僕の一番好きな時間は朝、  
君の一番好きな時間は夜。  
この繊細な快いこと全ての中で、  
君が探して、僕を見つけた。  
この全てを創造するということは、誰の考えかな？  
君のアイデアだったかな？それとも僕の？  
何回もこういう話を振ってすみません。  
でも、まだ僕は父なる時（時間）のことで困惑しています。  
変だと思われるかもしれないけれど、彼（時間）のことを信じているか分かりません。  
早くても遅くても、全く違いはない。  
でも母なる大地（地球）については、これがすごい話で、  
海からコンピューターまで、全ては一つのもの。  
女性と男性、背が低い人も高い人も、  
プラスチックの袋から野球まで。  
古く赤い革の椅子に座って、  
じっくりと人生の意味を考える。  
きちんと潤った木の根っこのように、  
韻のことを考えると髪の毛が立つ。  
しかし、やっと自分に問いかけたのはこんなこと：  
みんなが探している幸せはどこにあるの？  
その答えは、すぐ僕の鼻の下にある、それは君、  
思考と同じくらい唯一の具体的なこと。